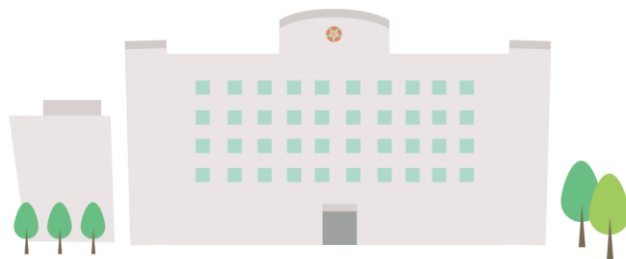


PET/CT検査 ご利用の手引き

当院連携の先生方へ



Guide to inspection



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院

検査の申込みから、結果報告までの流れをご説明させていただきます。
ご案内：注意事項をご確認の上検査をお申し込み頂きますようお願いいたします。

01 検査の申込み方法について

PET/CT検査は完全に予約制です。

PET/CT検査予約は、地域連携部門地域連携課までお電話ください。

検査予約が取れましたら、FAXにて診療情報提供書(PET/CT検査依頼書)、検査予約票を送信いたします。お送りしました書類を元に検査のご説明をお願いいたします。

お問い合わせ

☎ TEL【直通】028-626-5674

📠 FAX【直通】028-626-5795

🕒 月曜日～金曜日 / 9:00～17:00 土曜日 / 9:00～12:00

- 予約時に、当院受診歴の有無を確認いたしますので、事前に患者さんに確認をお願いいたします。(当院を受診したことがある患者さんの場合は、当院の患者IDが既にございます。不明な場合は氏名・生年月日で検索が可能です。)
- 予約後、FAXで届いた以下の書類を元に検査のご説明等をお願いいたします。
 - ・**検査予約票**: 検査の内容や食事・常備薬などの注意事項が記載されております。こちらは、そのまま患者さんにお渡しください。
 - ・**PET/CT診療情報提供書(兼検査依頼書)**: 必要事項の記載をお願いいたします。※診療情報提供書の形式はこの様式でなくとも構いません。
 - ・**造影剤使用に関する説明書と同意書**: こちらの説明と患者さんに同意の署名をして頂くようお願いいたします。

02 検査当日、患者さんにお持ちいただくもの

- ・診療情報提供書(兼CT検査依頼書)
- ・検査予約票
- ・造影剤使用に関する同意書 ※造影剤検査をご予約の場合のみ
- ・保険証
- ・済生会宇都宮病院の診察券 ※以前に当院を受診したことがある場合

03 検査の流れについて

検査当日は、受付時間の30分前までに総合受付1へお越しください。

受付から終了まで3～4時間程度の検査です。薬剤を注射してから1時間ほどの安静の後、検査室に入っていただきます。撮影時間は約30分で基本的には呼吸をしたまま検査です。

検査は注射後1時間の標準画像と2時間後の遅延画像の2回撮影を行います。検査後はすぐに退室いただけます。

04 結果の報告について

原則として当日、患者さんへの結果報告は致しません。結果報告につきましては、5日以内（土日・祝日は除く）にご依頼いただきました先生に郵送いたします。なお、お急ぎの場合は予約時にお申し出ください。

05 保険適用について

H30.4月時点

疾病	
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。
虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされる患者に使用する。ただし、通常の心筋血流シンチグラフィで判定困難な場合に限るものとする。
悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む)	他の検査、画像診断により病気診断、転移・再発の診断ができない患者に使用する。(※)
血管炎	高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者に使用する。

※(問)PET撮影の要件について、例えば肺癌であれば、「他の検査、画像診断により肺癌の存在を疑うが、病理診断により確定診断が得られない患者」という記載が無くなっているが、病理診断がなければPET撮影の算定はできなくなったのか。

(答)病理診断による確定診断が得られない場合については、臨床上高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断されれば、なお従前の通り算定できる。

◎保険適用になる場合

- CT・MR等の画像診断、腫瘍マーカー、病理診断などが既に施行されている患者
- 再発診断については、他の検査(腫瘍マーカーの上昇など)や画像診断(CTや胸部X-Pで再発を否定できない)で再発を疑う根拠がある場合

×保険適用にならない場合

- スクリーニング
- 非特異的な症状・所見(背部痛・胸水など)のみの場合

注意事項

同一月内のガリウムシンチは算定できません。

その他の画像診断とは主にCT・MR・X-P・超音波・注腸・マンモグラフィーなどを指します。

06 食事について

検査前日 食事は普段通りおとりいただいて結構です。
※ただし飲酒はご遠慮いただくようお願いいたします。

検査当日 食事は受付時間の**5時間前までに軽く**お済ませください。
それ以降は水分摂取のみとしてください。(この時、ジュース・スポーツドリンク・牛乳など糖分や乳製品の入ったものをお飲みになると、正確な検査ができなくなります。
水分を摂る場合は**お水・お茶・白湯のみ**とします。
なお、更衣後検査のためのお水(500ml)を飲んでいただきます
※食事制限をお守りいただけない場合、正しい診断ができなくなる恐れがありますのでその旨をお伝えください。

07 薬について(内服中のお薬について)

紹介元の先生より処方されているお薬は普段通りに飲んでいただいても結構です。ただし、糖尿病のお薬については医師とご相談ください。また、インスリン投与をされている患者さんのインスリン投与は受付の4時間前までに済ませてください。血糖値が150mg/dlを越えると腫瘍への集積が低下して、200mg/dlを越えると検出が困難となります。検査当日簡易血糖測定を行わせていただきますが、高血糖の患者さんには、血糖値が高い場合はPET製剤の集積が落ちる場合がある旨のご説明をお願いします。

08 検査前の運動について

このPET/CT検査は、検査前の運動の程度によってFDGが筋肉に集まってしまう、正確な検査が出来なくなる恐れがあります。検査前日と検査当日の運動(ジョギング・ゴルフ・ボーリングなど)はお止めくださるようお願いいたします。また当日も長時間の運転や歩行での来院は、避けるようお願いいたします。

09 料金のお支払いについて

保険適用が可能な患者さんの自己負担金は**3割負担の場合30,000円～35,000円前後**になります。
保険適用ができない患者さんの自己負担金は、**100,000円前後**になります。

10 キャンセルについて

PET検査薬のFDGは予約日時に合わせて製薬メーカーより取り寄せております。当日予約時間に遅れたり来院されない場合は、製剤が無駄になってしまいますので、キャンセルはお止めくださるようお願いいたします。やむを得ず**変更が必要な場合は、必ず前々日までの正午まで**にご連絡いただきたくお願いします。ただし、前々日が土曜・日曜祝祭日の場合は、その前日の正午までとさせていただきます。

11 安全性と診断精度について

PET/CT検査は、少量の陽電子断層診療用放射性同位元素、フッ素18フルデオキシグルコース18 FDG Fludeoxyglucose(ブドウ糖)を静注します。薬剤を注射する以外に身体に対する痛みもなく、腎臓や尿路・膀胱に集積しますので、これらの臓器の診断は難しくなりますし、またがん以外の炎症・甲状腺腫などの良性疾患にも副作用の心配もありません。他の検査と比較しても苦痛は伴わない安全であることが確認されております。

FDGは尿から排出され腎臓や尿路・膀胱に集積しますので、それらの臓器の診断は難しくなりますし、またがん以外の炎症・甲状腺腫などの良性疾患にも集まりやすいので、異常があった場合、確定診断のために他の検査が必要になる場合があります。

PET/CT検査といえども顕微鏡レベルのがんや、5mm以下の小さながん、糖代謝の低いがんの診断は難しくなりますし、またPET/CT検査でも発見できないがんもあります。必ずしもPET/CT検査が万能でないことも、ご理解いただきたくお願い致します。

妊娠されている方、妊娠の恐れのある方の検査はお受けできません。

PET/CT検査の被爆線量はPETとCTで約7.4mSv(ミリシーベルト)です。

この被爆線量では急性の放射線障害が起きる可能性はありません。

胃のバリウム検査は約4mSvで、太陽や地下及び食物などからの自然放射線は年間で約2.4mSv/年です。(ブラジルでは7～8mSv/年)

12 その他

当院ではPET/CT検査を受けられる方の検査中のご案内・進捗情報の確保などに、誘導マイク・モニターを使用させていただいております。

プライバシーの保護には十分配慮させていただきますので、ご理解の程をよろしくお願い致します。

検査後のお食事・入浴などは、普段通りにお過ごしいただいて結構です。



PET/CTは、

「がん」の早期発見を可能にする
最新の検査法です



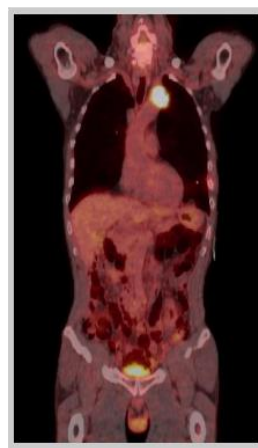
CTの画像

+



PETの画像

=



PET/CTの画像

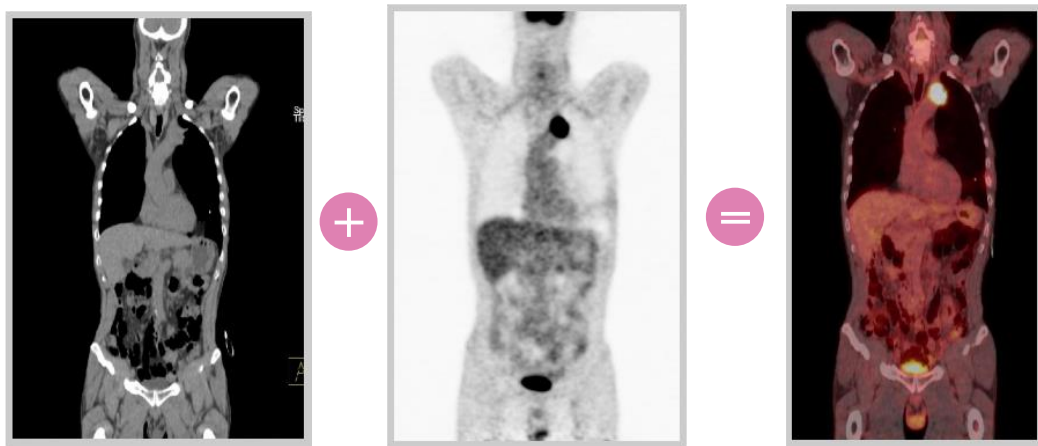
PET/CT検査は…

- 腫瘍の良性・悪性の的確な判断
- 遠隔転移の検索(ステージの決定)
- 治療効果の判定
- 原発不明がんの全身検索

などに、非常に有効です。

検査の特長

- 一度の検査で、全身の「がん」や「転移の有無」などの検査が可能です。
- 従来の検査では困難であった小さな「がん」や「リンパ節転移」の発見が可能です。
- 腫瘍の良性・悪性の判別や、がんの広がり程度、転移などの正確な診断が可能です。
- PET検査とCT検査を組み合わせることにより検査時間が短縮され、患者さんのご負担を軽減することが可能です。



がん病巣の発見に 形状と位置の特定に 正診率が飛躍的に向上！

❗ 発見されやすい「がん」

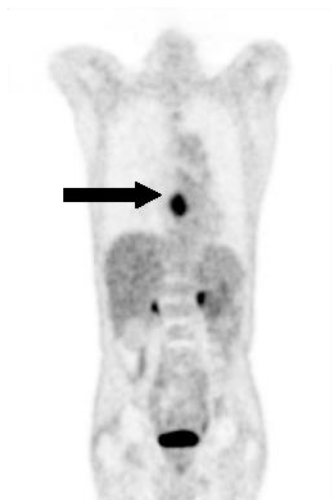
肺がん・大腸がん・食道がん・膵臓がん・甲状腺がん
乳がん・子宮がん・卵巣がん・悪性リンパ腫・悪性黒色腫

❓ 発見が難しい「がん」

早期の胃がん・前立腺がん・肝臓がん
(超音波検査や内視鏡検査との組み合わせが必要です)

臨床例

その1) 食道がん



PETの画像

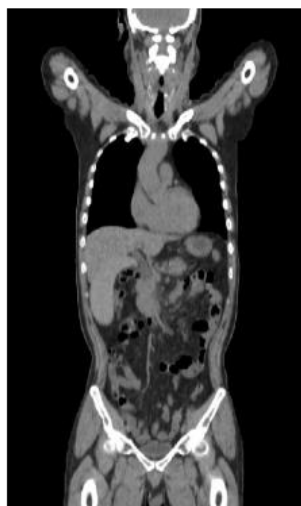


CTの画像



PET/CTの画像

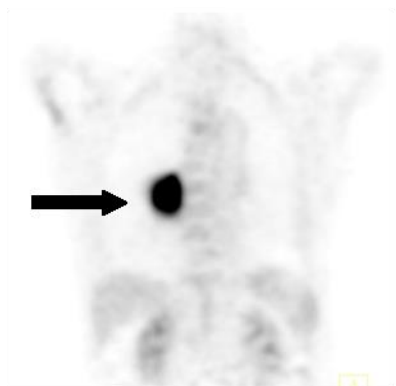
その2) 膵臓がん



————→ 病巣(膵頭部Ca)

- - - - -> 正常集積(胃)

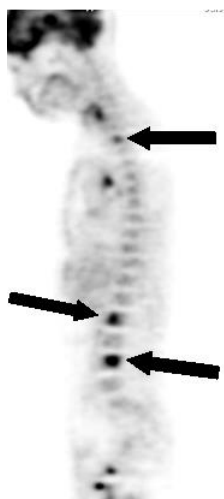
その3) 肺がん(原発巣)



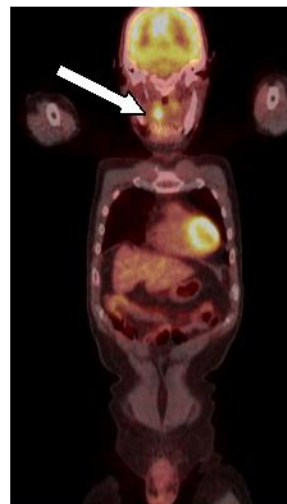
その4) 肺がん(リンパ節転移)



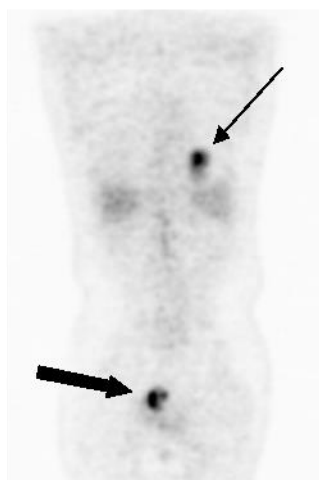
その5) 肺がん(骨転移)

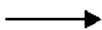


その6) 上咽頭がん

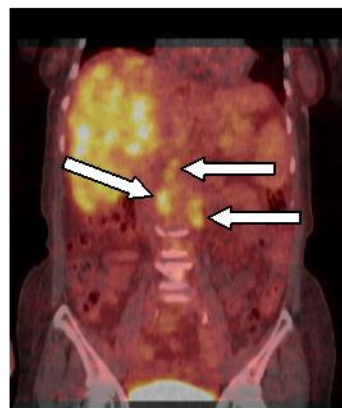
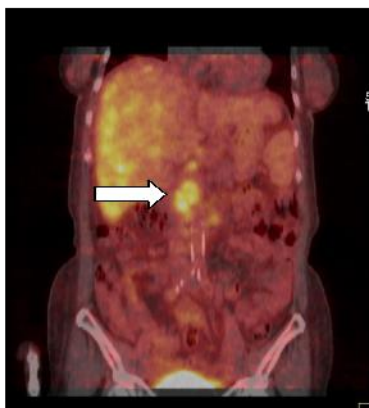


その7) 大腸がん



 直腸がん
 転移性肺がん

その8) 悪性黒色腫



私たちは



PET/CT

Positron Emission Tomographyで

がんの早期発見に
全力で取り組んでいます



がんになる人は年間50万人を越えており、がんの死亡者数は年々増え続けております。死亡者の3人に1人ががんで亡くなっている現実、医療を担う私たちにとって、無視のできない状況であります。私たちはこの地域のがんの死亡率を少しでも緩和させたい。がんに苦しむ患者さん、そして共に戦っている先生方の診療に少しでもお役に立ちたい。そんな思いから、そのたび診断・治療を進める上で大きな威力を発揮する、最先端のがん診断装置PET/CT検査を設置しました。私たちはPET/CTを通じて、より多くの医療機関とそしてより多くの先生方と今以上の密接なつながりを築き、先生方がいつでもご利用になれる、検査センター的な役割を担う体制を充実させてまいりますので、よろしくお願い致します。

お問い合わせ

済生会宇都宮病院 診療放射線技術科核医学診療課 PET/CT 室

☎ TEL 028-626-5500 【内線 3178】



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院